

線型代数学演習 A

No.9 例題

2013年6月10日実施

- 1 以下の複素行列について、(有限回の)基本変形を施すことにより、 $\begin{pmatrix} E_r & O \\ O & O \end{pmatrix}$ の形に変形せよ。その際、基本変形の具体的な操作も記述せよ。なお、最終形において、下の2つの O 、あるいは右の2つの O は現れないことがある。

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 5 \\ -2 & 1 & 4 & -5 \\ 2 & 1 & 0 & 7 \end{pmatrix}.$$

$$(2) \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 1 \end{pmatrix}.$$

(略解) 基本変形の具体的な操作はまとめて書くことにする。

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 5 \\ -2 & 1 & 4 & -5 \\ 2 & 1 & 0 & 7 \end{pmatrix} \xrightarrow{(i)} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 5 \\ 0 & 5 & 10 & 5 \\ 0 & -3 & -6 & -3 \end{pmatrix} \xrightarrow{(ii)} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 5 \\ 0 & 1 & 2 & 1 \\ 0 & -3 & -6 & -3 \end{pmatrix} \\ \xrightarrow{(iii)} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 5 \\ 0 & 1 & 2 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(iv)} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 2 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(v)} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}.$$

各基本変形の具体的な操作は以下の通りである。

- (i) 第2, 3行にそれぞれ第1行の2倍, -2 倍を加える。
(ii) 第2行を $\frac{1}{5}$ 倍する。
(iii) 第3行に第2行の3倍を加える。
(iv) 第2, 3, 4列にそれぞれ第1列の -2 倍, -3 倍, -5 倍を加える。
(v) 第3, 4列に第2列の -2 倍, -1 倍を加える。

$$(2) \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(i)} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 0 & -1 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(ii)} \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 \\ 0 & 0 & 2 \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(iii)} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \\ \xrightarrow{(iv)} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(v)} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}.$$

各基本変形の具体的な操作は以下の通りである。

- (i) 第 2, 4 行にいずれも第 1 行の -1 倍を加える。
- (ii) 第 1, 2 行にそれぞれ第 3 行の -1 倍, 1 倍を加える。
- (iii) 第 1, 2, 3 行に第 4 行の 1 倍, -2 倍, -1 倍を加える。
- (iv) 第 2 行と第 3 行を入れ替える。
- (v) 第 3 行と第 4 行を入れ替える。

2 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5 \in \mathbb{C}^3$ を以下で与えられるものとする。

$$\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ -1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_4 = \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_5 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}.$$

そして、これらの数ベクトルを並べて得られる行列を $A = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5)$ とする。

(1) A に行基本変形を施すことにより、階段行列 B に変形せよ。その際、その変形の具体的な操作も記述せよ。

(2) $W = \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5 \rangle \subset \mathbb{C}^3$ とし、 $r = \dim W$ とする。このとき、 $\{\mathbf{a}_{k_1}, \dots, \mathbf{a}_{k_r}\}$ が W の基底となる $\mathbf{a}_{k_1}, \dots, \mathbf{a}_{k_r}$ ($k_1 < \dots < k_r$) を $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5$ から一組選べ。

(略解) (1) 行基本変形の具体的な操作はまとめて書くことにする。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 & -1 & 1 \\ -1 & -1 & -2 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & -1 & 1 & -2 \end{pmatrix} \xrightarrow{(i)} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 & -1 & 1 \\ 0 & 1 & -1 & -1 & 2 \\ 0 & 1 & -1 & 1 & -2 \end{pmatrix} \\ \xrightarrow{(ii)} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 & -1 & 1 \\ 0 & 1 & -1 & -1 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 2 & -4 \end{pmatrix} = B.$$

各行基本変形の具体的な操作は以下の通りである。

- (i) 第 2 行に第 1 行を加える。
 - (ii) 第 3 行に第 2 行の -1 倍を加える。
- (2) (1) で得られた B を $B = (\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3, \mathbf{b}_4, \mathbf{b}_5)$ と表すとする。すると、 $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_4$ の第 3, 2, 1 成分を順に考えることにより、 $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_4$ は一次独立である。ところで、行基本変形は有限個の基本行列の積である正則行列 P を左から掛けることにより実現される。この P を用いると、 $\mathbf{b}_j = P\mathbf{a}_j$ ($1 \leq j \leq 5$) である。ここで、 $\alpha_1, \alpha_2, \alpha_4 \in \mathbb{C}$ 、かつ $\alpha_1\mathbf{a}_1 + \alpha_2\mathbf{a}_2 + \alpha_4\mathbf{a}_4 = \mathbf{0} \in \mathbb{C}^3$ が成り立つとする。すると、 $\mathbf{0} = P\mathbf{0} = \alpha_1P\mathbf{a}_1 + \alpha_2P\mathbf{a}_2 + \alpha_4P\mathbf{a}_4 = \alpha_1\mathbf{b}_1 + \alpha_2\mathbf{b}_2 + \alpha_4\mathbf{b}_4$ となるが、 $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_4$ は一次独立であるから、 $\alpha_1 = \alpha_2 = \alpha_4 = 0$ 。ゆえに、 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_4$ は一次独立であり、 $\dim W \geq 3$ 。ところが、 $\dim \mathbb{C}^3 = 3$ であるから、 $\dim W = 3$ であり、 $W = \mathbb{C}^3$ 。従って、 $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_4\} \subset W$ は W の基底である。